

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	
園名	こどもヶ丘保育園大森北園
クラス	4歳児クラス/きりん組

## 1. 活動テーマ

【テーマ】

梅の実

【テーマの設定理由】

子どもたちが公園で見つけた何かの実を園に持ち帰り、多くの子が興味を示し匂いをかいだり触れたりして関心を持つ。観察や推測から梅の実だと分かり、梅に関する絵本を用意すると、特に梅干しづくりの絵本に興味を示し、「作ってみたい。」と声上がり梅干しづくりや梅シロップ・ゼリーづくりを計画する。

## 2. 活動スケジュール

- 1回目 4月26日(土)～：公園で拾った実を観察
- 2回目 5月12日(月)～：絵本や図鑑の設定
- 3回目 6月27日(金)～：梅干し・梅シロップづくり
- 4回目 8月1日(金)：梅シロップ試飲、ゼリーづくり・実食
- 5回目 8月18日(月)：梅干し実食



### 3, 探究活動の実践

【活動の内容】 4月26日(土)～ 8月18日(月)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育士との関わり

- ・活動のために準備した素材や道具

梅に関する絵本

梅干し作り→梅、塩、爪楊枝、袋、天日干しネット、トレー、ボール

シロップ・ゼリー作り→梅、袋、氷砂糖、ゼラチン、鍋、カップ、お玉、IHコンロ

- ・環境設定

保育室内に梅干し作りのコーナーを設定し、過程を自由に観察できるようにする。調理師と保存方法などを相談の上、衛生面に考慮して進める。

・「甘い。」「桃みたい。」「見たことある。」「梅は酸っぱいよ。」と思ったことや気づいたこと、持っている知識などで会話が広がる。

梅干しづくり、シロップ・ゼリーづくりを通して、毎日変化する様子を楽しみに観察する姿や「何で?」と疑問をたくさん持つ姿があった。「塩が水に変わったのかな? (梅酢)」「外が暑くて熱中症になった。(三日干し中)」「カビがはえちゃった?(三日干し中)」と考えたり”知る”楽しさも味わえた。実際に食べたり飲んだりすることで、シロップは「甘い」、ゼリーはちょっと「苦い」、梅干しは「酸っぱい」と元々は同じ梅だが「違う味になった。」と気づいたり、それらの変化を楽しむことができた。





#### 4, 保護者への共有

- ・スライド動画の配信（連絡帳アプリ）
- ・送迎時などに口頭で伝えたり、子どもと一緒に実物を観察してもらう。

#### 5, 振り返り

##### 【振り返りによって得た保育者の気づき】

・子どもたちの素直な発見や感じ方、疑問なども含め、いろいろな角度からの気づきを一人ひとりが持っていることを知れた。保育者も初めての梅干しづくりだったため、子どもたちと一緒に作り方の絵本を見ながら進めることで、形が崩れてしまうのもあったが、「指でつつんしすぎたかもしれない。」と話したりと失敗からの気づきも持っていた。梅に関する活動は一度区切りとなるが、今後も些細な気づきや疑問を取り上げて活動に繋げていきたい。